

放射線安全フォーラム 第59回放射線防護研究会

「IAEA安全基準の策定動向と課題」

開催趣旨

国際原子力機関(IAEA)の放射線安全基準委員会(RASSC:Radiation Safety Standards Committee)は、放射線防護に関する専門的知見を有する各国の上級政府職員で構成される委員会で、放射線防護に関する安全基準文書の策定や改訂に関して主要な役割を果たしています。RASSCに関係の深い安全基準文書には「GSR Part 3:放射線防護と放射線源の安全:国際基本安全基準(BSS)」があり、これは我が国における放射線安全規制の基盤ともなるものです。

RASSCでは、2018年1月より第8期(2018~2020)の活動に向けて、加盟各国へのアンケート結果に基づいて、13のテーマについて今後取り組むべき重点テーマの優先順位に関して議論を展開しています。

<第8期 IAEA-RASSC 13の重点テーマより>

- GSR Part 3(BSS)の履行 Implementation of GSR Part 3 (International Basic Safety Standards - the BSS)
- 免除とクリアランスのガイダンスの更新 Updated Guidance on Exemption and Clearance
- 規制に対する等級別アプローチ Graded Approach to Regulation など

第59回放射線防護研究会では、この13の重点テーマの背景と論点を整理することで、国際的な視点での放射線防護分野の動向について情報共有します。また、これを受けて今後の我が国における放射線安全規制の方向性を議論し、かつ我が国が国際社会に貢献すべき項目について、ざっくばらんに意見交換します。多くの方のご参加をお待ちしています。

記

1. 日時、場所

日 時 : 2019年2月16日(土)13:30~17:00

場 所 : 株式会社千代田テクノル 本社ビル2階会議室
東京都文京区湯島1-7-12 千代田お茶の水ビル

2. プログラム

司 会 : 高橋 浩之 NPO 放射線安全フォーラム理事長

情報提供 : 立川 博一 「IAEA 安全基準策定のための体制と手順」(公財)原子力安全研究協会

講 演 :

- (1) 川口 勇生 「IAEA・RASSC 第8期における検討課題とその背景」

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所

- (2) 荻野 晴之 「免除とクリアランス(DS499, DS500)」

(一財)電力中央研究所

コメント :

- (1) 桧垣 正吾 国立大学法人東京大学

(2) 米原 英典 (公財)原子力安全研究協会

(3) 梶本 和義 NPO 放射線安全フォーラム理事

総合討論:

ファシリテータ 飯本 武志 国立大学法人東京大学

※ 本研究会会場内での、写真撮影並びに録音等については一切禁止いたします。
なお行った場合は、退場して頂きます。

3. 参加費:(放射線安全フォーラム会員は無料)

一般:3,000円、学生:500円(受付時に学生証をご提示ください)

4. 参加申込み:ホームページよりお申込み下さい。 <https://www.rsf.or.jp>

事前登録制です。会場のお大きさに限りがあるために先着順60名とさせていただきます。

参加される方は必ず受付フォームより参加申込みをお願いいたします。上記サイトより申し込みされていない方、参加申し込みのない方は、当日会場に入室できない可能性もございます。なお、定員に達した後、または、受付期間終了後の参加お問い合わせは、事務局までお願いします。

5. 申込期日:2019年2月8日(金)17:00

6. 問合せ: mail@rsf.or.jp

[懇親会] プログラム終了後、18時00分から2時間程度を予定しております。

併せてご参加いただければ幸いです。懇親会参加費は別途3,000円です。

以上